

学術知共創プログラム

◆課題:分断社会の超克

◆研究テーマ:移住・移民の常態化を前提とする持続的多文化共生社会の構築

研究期間:R3.10~R9.3
委託費総額:99,678千円

<研究代表者>

坂井 一成:神戸大学大学院国際文化学研究所/教授



<専門分野>

国際関係論、EU移民政策、EU対外政策、フランス政治外交

<研究目的・概要>

人の国際移動の常態化が進む日本を含めた世界各国で、移民との共生が日常化するなかで社会的分断が深刻化



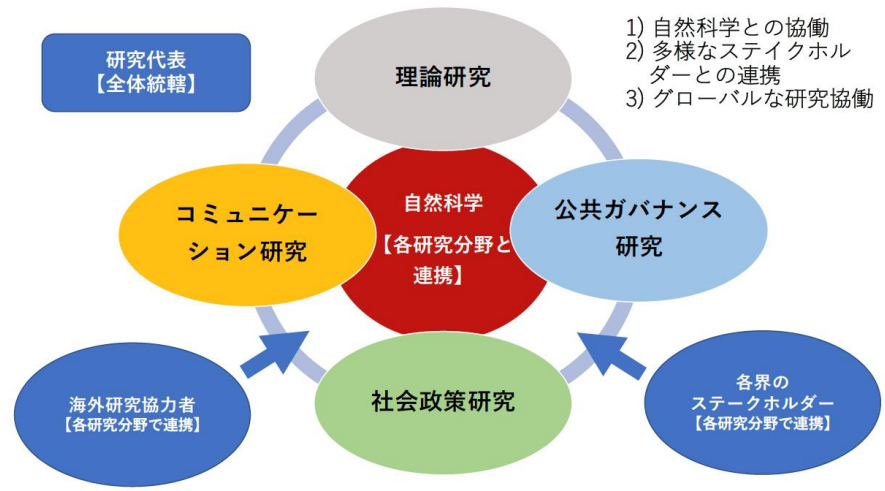
社会の分断の回避、及び回避しきれずに分断された社会の再構築のためのビジョンと手法を提示する

- (1)ホスト社会と移住者のコミュニケーション手法を改善する。
- (2)移民との共生に不可欠な社会政策(技能実習、家族、医療を含めた福祉制度)の課題と改善策を明らかにする。
- (3)メディア、法・行政制度の改善点を明らかにし、移民自身が当事者として社会参画する仕組みを提示する。
- (4)「移民対象の多文化主義」理論を構築する。



人の移動が、異文化との接触の増加による様々な摩擦をもたらし、社会分断を生んでいる現実に対し、分断を解消・予防し、逆に利益を生む構造に転換する知を創出

<研究計画の特徴>



<目標とする研究成果>

- (1)個人の生き方と文化的多様性を維持しつつ、グローバルに統合された世界の構築に貢献する知の創造
- (2)社会的分断を抑制するための市民性の涵養を可能にする手法の解明

<将来展望>

社会内部での分断を回避し、ホスト社会市民と移民とが互いにより良い生活を享受できる、「持続的多文化共生社会」モデルを提示